

## 平成21年度第4回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成21年8月24日（月）15:00～17:00

場所：三重県熊野庁舎5階大会議室A

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

### (1) 二級河川志原川水系河川整備計画策定に向けて

志原川水系の概要を説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・ 浸水被害が大きかった志原川下流部の市街地が減少しているのに対し、産田川の方では市街地が増加している。この辺は今回の整備計画で考慮しているのか。志原川と産田川を分けて考えたときに、水田が減り市街化が進行している産田川と、市街化があまり進行せず畑・原野が増加している志原川のどちらに重点を置いて整備していくかが非常に重要な視点ではないか。
- ・ 最下流部の遊水区域で水を貯留して水位を上げると、バックが効いて産田川の内水排除が出来なくなる。産田川の内水による浸水が、特に市街地の方で問題になるのであれば、むしろそちらの方を流すことを考えなければならないのではないか。
- ・ 農業農村基盤整備事業で、地域の自然を守れるような形の整備事業を志原川上流で行っていたと思うが、その様に両得的な整備をした箇所での、環境の現況などを項目の中に入れておくと将来的に下流域で整備するときの参考になるのではないか。
- ・ この地域では、過去の記録に貴重な鳥類が出ている可能性もあるので、この辺りをフィールドとして活動されている方に一度状況を伺った方が良い。
- ・ 大前池や志原池、原野的な所の自然は大変貴重である。5年後、10年後我々が想像できないような自然環境が出来てくる可能性もあるので大事にしてほしい。

### (2) 一級河川宮川水系河川整備計画策定に向けて

宮川水系の概要を説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・ 整備計画という性格上難しいところもあるかも知れないが、今回は河川の概要についてということもあり、全体的な大きな事しか話が出来ない。一般的に河川改修を行うと、魚類や水生生物などには痛手が大きいと思う。改修の

方法や場所など具体的なところが分からない状況では、専門家の意見や助言がもらえないのではないかと。

- ・ 大内山川に棲息するネコギギの分布状況などは、教育委員会が把握していると思うので、どこでどういう工事を行うかというのは一度相談した方が良いでしょう。

### (3) 今後の予定

次回の流域委員会については、別途日程調整することで確認。

対象河川：一級河川木津川水系、一級河川宮川水系

## 5. 閉会